

# くすり博物館だより

NAITO MUSEUM OF PHARMACEUTICAL SCIENCE AND INDUSTRY

内藤記念くすり博物館 〒501-61 岐阜県羽島郡川島町 Phone: 058689-2101



## はな え 特別展 花の繪

本草図譜から  
身近な植物画まで

1992.8.1 ~ 11.29



▲昔の植物学書 江戸時代の植物学関係の書物の展示をはじめ、本草綱目をもとに描いた江戸時代の薬草図を展示。

江戸時代から薬学を学ぶ人々にとって植物学(本草学)は重要な分野で、多くの書物が出版されました。

植物図鑑といえば、写真技術のなかった当時には、正確な絵がそえられた美しい図鑑でした。現在でも、写真では表現しきれない細かな部分は植物画で現すことが多く、植物を観察し、描くことは一般的です。

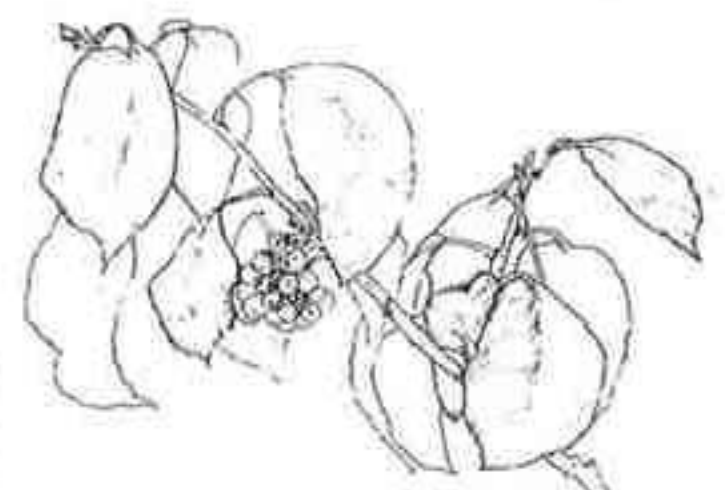
今回の特別展では、画家の描いた植物画をはじめ、古くは江戸時代の植物学書や薬草図、また季節感のある生け花を展示しています。

古来より、花々は身体に効くくすりとしてだけでなく、人々の目を楽しませ、心を豊かにしてきました。今回の特別展では美しい花々を堪能していただけましたら幸いです。

イチョウ  
画 中井珠江



ピナンカズラ  
画 伊藤順子



クチナシ  
画 保田芳紀



### 植物画教室受講生の作品▶

くすり博物館では薬用植物を観察し、楽しむことを目的に附属薬用植物園園長逸見誠三郎を講師に1987年より開催しています。植物観察の中から素晴らしい作品が完成しました。

# 精密な筆が花の心まで伝えます



◀『Medical Botany』

William Woodville著による薬用植物の解説書。銅版印刷によるもので、植物が鮮明に表現されています。1771年ロンドンで発行。



◀ばらと椿の植物画

二口善雄による植物画集とその原画作品（加藤辰己様所蔵）。

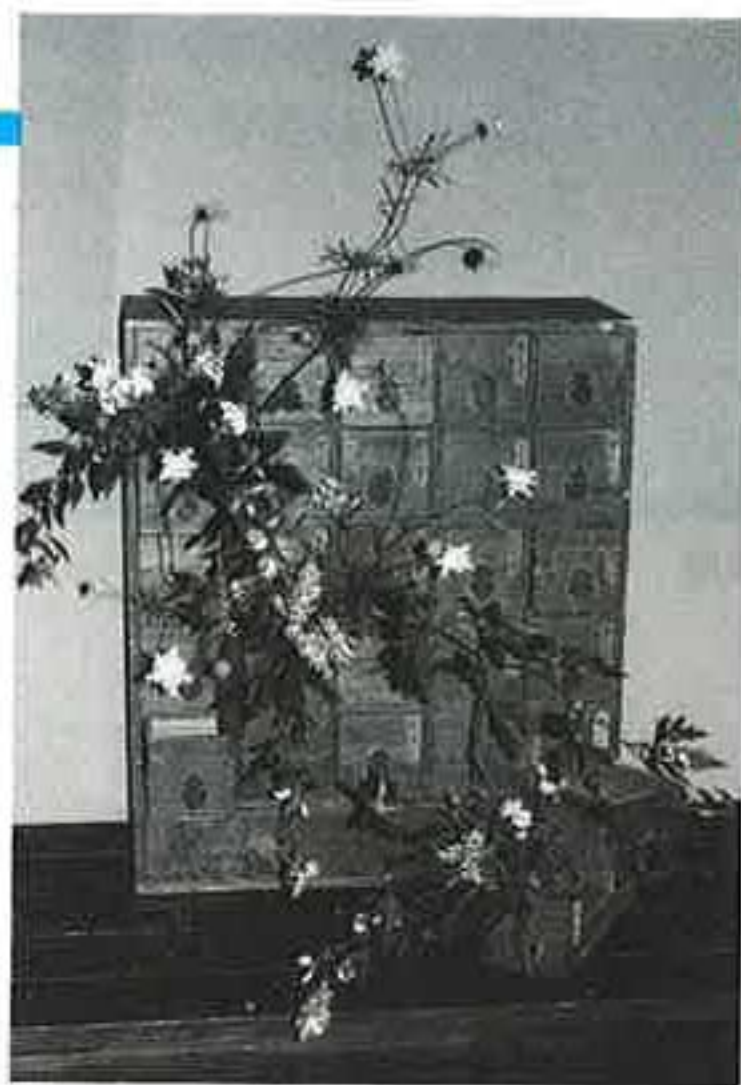


◀『本草図譜』と ▲『草木図説』

本草図譜は岩崎灌園による江戸時代の植物図鑑。注文に応じて色付けされました。草木図説は飯沼慾斎によるもので、西洋の植物の分類であるリンネの分類が採用されていることは興味深いです。

## 製薬道具と生け花

特別展開催期間中、枝風塾のご協力により、季節の薬用植物を主体とした生け花作品を展示しています。



◁生け花研究会 枝風塾▷

藤井風一郎主宰の生け花研究会。1981年、愛知県江南市で開塾。既成の生け花の流派によらず、独自ののびやかな生け花を展開しています。作品は籠類をつかい、野の花を主体としたものが多く、植物自体の美しさを表現しています。

百味筆筒▶

筆筒の引き出しを花器として使用。花材は烏頭など。

▼人車製薬機とます 人車製薬機の前にはます秤を花器として使用。花材はヤマユリ、クサレダマ、オミナエシ。



◀薬研

生薬を細かくする道具である薬研を花器として使用。花材はフシグロセンノウ、ミズヒキなど。



## 植物画講座の

### あ・ゆ・み

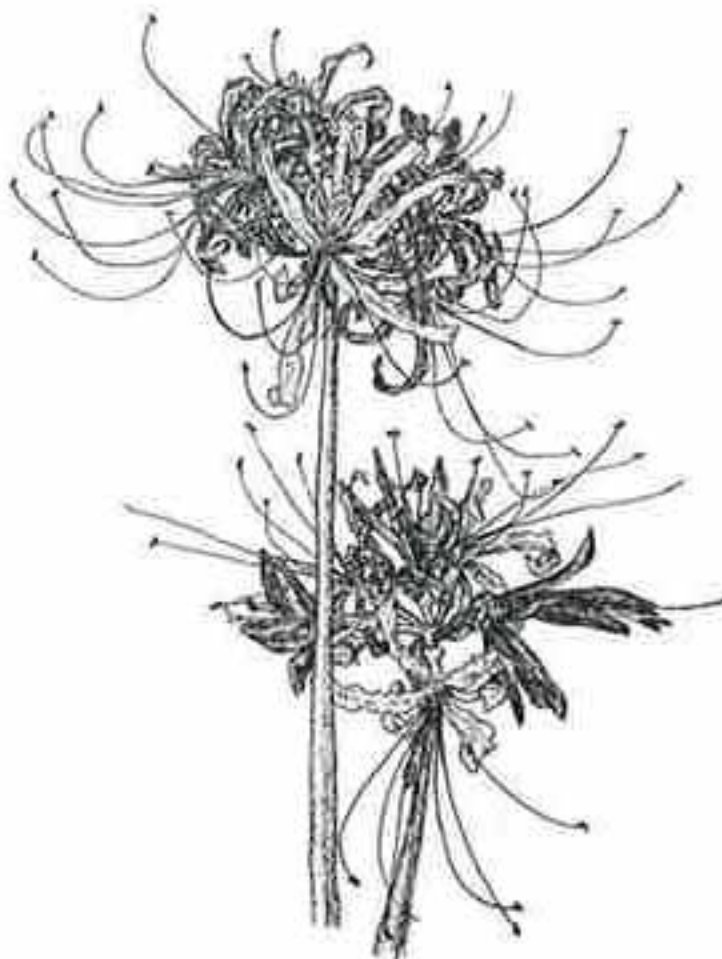
今回の特別展の展示で、ぜひ皆さまにご注目いただきたいものがあります。それは、くすり博物館の植物講座受講生のかたがたが描いた植物の精密画です。

作品は、会場の向かって左手に展示されています。どれも受講生のかたがたが長い時間をかけて、描かれたものです。

月に1度、土曜・日曜と集中して講座は開かれています。念入りに描かれるかたほど時間内には終了せず、ご自宅へ絵と植物を持ち帰っていらっしゃるようです。

それもそのはず、この精密画を描くにあたってとても重要なのは植物をじっくり観察することだからです。植物の全体像から、小さな芽や葉の裏のうぶ毛まで、とき

にはルーペを駆使して観察します。このときに、講師の逸見が植物学的な観点から受講生の一人一人に画材の植物の見方・描き方をアドバイスします。画材は主に薬草園の植物を用いるため、四季折々の



薬草の姿を身近に見ることになります。

和気あいあいとした雰囲気ながらも、一旦ペンをとると皆さん真剣に製作されています。

昭和63年にわずか20人で、年4回から始まったこの講座も皆さんに育てていただいて、今では月1回、約70人の皆さんに心待ちにさせていただけるまでになりました。お礼申し上げますとともに、これからのご参加もお待ちしています。

◎講座のご案内をご希望の方はご住所・お名前・電話番号を明記し、往復ハガキで表紙の住所までお申し込み下さい。

## 医薬のれん抄(4)

植物について語るとき、忘れてはならない人物がいます。大垣で活躍した植物学者・飯沼慾齋(1783-1868)です。

慾齋は、自ら採取・育成した植物を詳しく調べました。そ

うして、リンネの分類法に従って学術的に分類された日本で最初の植物学の本を書き上げました。しかも、その本を書くにあたっては、50歳から10年間研究したあと、62歳から筆を起こしたのです。そして、74歳で『草木図説』草部・第1帙(巻1~5)、79歳で第2、第3帙(巻6~15)、80歳のとき、第4帙(巻16~20)をまとめ、草部を完成させました。何故慾齋はこのようなことができたのでしょうか?

### 植物学者

いいぬまよくさい  
**飯沼慾齋**

再び大垣へ戻って開業しました。46歳のとき、死刑になった人の解剖も行いました。

こうした漢方治療と蘭方治療の両方の経験を通じて、当時紹介されたリンネの分類による記載が科学的であることを身をもって知ることになったのではないのでしょうか。解剖の体験も、解剖を含む西洋の図譜の正確さというものを確認するきっかけとなったことでしょうか。

家業を譲った50歳のときに名乗っ

た“慾齋”という名は、「自分にはまだやりたいことがある」という意志の表われといわれています。また、62歳のときの「奮然起筆」という言葉は、書くべき方向性をつかんだ表われでしょう。この名

とこの言葉は、医師として生き、その後植物の科学的分類研究にいそしんだ慾齋

の素晴らしい生き方をも表わしているように思えます。

くすり博物館館長

岩井鑛治郎



## 新 収蔵資料

20周年の特別展特集が続いてこのコーナーをお休みしている間に、たくさんの資料を収蔵いたしました。ご寄贈・購入の資料中特に珍しい資料をご紹介します。



### ◀ 売薬印紙の屏風

京都市の亀田利太良様よりいただいた屏風は、使用済みの売薬印紙を貼りませたものです。あまり残っていない売薬印紙をこれだけたくさん使った上、屏風にしたててあるのは、大変珍しいものです。



### 薬祖神像▶

宝塚市の田辺源三郎様よりご寄贈いただきました。



▲ 浦和氏の帆足勇夫様（故人）が集められた旗看板や百味だんすなどです。奥様の道代様よりご寄贈いただきました。



### ▼ 気化器

新潟県厚生連中央病院の杉山一教様ご寄贈のものです。



◀ 広告入りうちわくすりの宣伝が描かれています。



### ◀ 薬煎器

エーザイ(株)の大久保浩様より変わった形の薬煎器をいただきました。

### ■ 資料の貸し出しがありました

- ◇ エキスポとやま博 (7/9 - 7/27)  
→ 資料の他、丸薬作りの体験グッズも。
- ◇ 名古屋市科学館 (7/18 - 8/30)
- ◇ 横浜・第5回世界臨床薬理学会 (7/26 - 7/30)
- ◇ 広島・健康科学館 (7/28 - 8/9)  
→ 「ハートウォッチング92」で展示。  
パネル・薬草鉢植の貸し出しは…
- ◇ 塩釜医師会 (7/29 - 8/3)
- ◇ 師勝町薬剤師会 (6/28)
- ◇ 一宮市薬剤師会 (9/5 - 9/6)
- ◇ 愛知県薬剤師会 (9/9 - 9/16)

### ■ 映画に出演？

といっても、職員の誰かという訳ではありません。くすり博物館収蔵の“看板”が、坂東玉三郎監督の映画『夢の女』の薬屋の場面に登場する予定です。撮影は、東京都府中市郷土の森にある旧島田薬舗で行われました。23点の看板は、移築・公開されている昔の薬屋の店舗に飾られ、そこを舞台に撮影が行われました。編集の段階でカットされなければ、看板は見事“映画初主演”となります。映画公開は来年とのこと。楽しみですね。

## とぴっくす

### ■ わらびもちも作ったよ！

～夏休み子ども教室～

8月22日・23日の2日間にわたって、29人の皆さんがカレー作り・わらびもち作り・草木染めに取り組みました。特に今年はわらびもちに初めて挑戦。もちが透明になるまで交替でなべをかきまわし、スプーンですくって水で冷やし固める一方、炒った大豆を石臼でひいてきなこも作りました。草木染のハンカチが乾くのを待つ間、アジサイの葉っぱのお皿でいただきました。

### ■ ご利用ください 英文パンフレット

NAITO MUSEUM  
OF PHARMACEUTICAL  
SCIENCE AND INDUSTRY



博物館の概要・道順などを英語で紹介したものです。日本語版とはほぼ同じ体裁で、四つ折8ページです。ご希望のかたはお申し出ください。

資料・図書のご寄贈・ご寄託者ご芳名  
ありがとうございました  
青木貞治・伊藤隆介・市原種蔵  
大久保浩・太田三郎・片桐平智  
杉山一教・田辺源三郎・野中萬太郎  
(敬称略)

### ■ こんなレターセットで

お便りしませんか？



特別展にちなんで、今回はくすり博物館オリジナルの薬草の絵のレターセットを紹介します。

絵柄はタンポポとウイキョウ。タンポポはクリーム色の和紙風の便箋、ウイキョウは淡いグレー地に白い模様入りの便箋。同じ紙の無地の封筒が5部と野線下敷が入って1セット300円です。郵送もできます(送料は申込者ご負担です)。秋の夜長にお便りしたためてはいかがですか？

館長 岩井鑄治郎 学芸員 稲垣裕美(編集担当) 学芸員/司書 野尻佳与子・伊藤恭子 庶務 川瀬麻起子  
説明員 高橋千寿 薬用植物園 白井英夫 顧問 青木允夫・逸見誠三郎  
内藤記念くすり博物館 9:00~16:00開館 月曜・年末年始(12/28~1/8)休館